学校番号	315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	改訂版 高等学校 数学 A（数研出版）						
副教材等	改訂版 教科書傍用 クリアー 数学Ⅰ＋A（数研出版），改訂版 NEW ACTION FRONTIER 数学 I+A（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では教科書の例題や練習問題を中心に解いていく。解答を導き出す過程をしっかり理解することが最も大切である。
・副教材に取り組む際は,授業の内容を思い出し,プロセスを辿ることを意識しよう。間違ったところは入念に考察し,自分の間違いの傾向を捉えることに役立ててもらいたい。また,模範解答を参考に,スマートな答案の推敲に尽力してもらいたい。

2　学習の到達目標

・図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の取得と技術の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深める。
・図形の構成要素間の関係などに着目して図形の性質を見出し，論理的に考察する力や確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力､事象に数学の構造を見出して数理的に考察する力を養う。
・数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に 学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見出し，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力数学と人間の活動との関りに着目し，事象に数学の構造を見出し，数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	場合の数と確率	集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ	a:順列や組合せの意味を理解し,順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:ベン図を利用して集合を図示し,集合の要素の個数を考察することができる。 c:道順の数え方に興味を示し,樹形図，和の法則や対称性などによる場合の数の考え方に関心をもつ。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート
		事象と確率 確率の基本的な性質	a:確率の意味や基本的な法則について理解し，確率を求めることができる。 b:試行の結果を事象として捉え,事象を集合と結び付けて考察することができる。 c:実験などを通して統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート
		不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式	a:不等式における解の意味や連立不等式の意味を理解し,1次不等式や連立不等式を解くことができる。 b:身近な問題を 1 次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 c:不等式における性質や解の意味と等式における性質や解の意味を比較し，考察しようとする。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート
2	場合の数と確率	独立な試行と確率 条件付き確率 期待値	a:期待値の定義を理解し,期待値を求めることができる。 b:独立な思考や条件確率の意味について，具体例や既習の確率の知識を利用して考察することができる。 c:条件付き確率を利用して原因の確率が考えられることに興味をもち，考察しようとする。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート

	図形の性質	三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円 作図	a:定理や性質を理解し,適切に利用して線分の比や長さ，角の大きさを求めることができる。 b:図形の性質を証明するのに既習事項を用いて論理的に考察することができる。 c:チェバの定理,メネラウスの定理に興味を示し，積極的に考察しようとする。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート
		直線と平面 空間図形と多面体	a:正多面体の特徴を理解し,それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 b:図形の構成要素間の関係や図形の性質から図形の新たな性質を考察することができる。 c:オイラーの多面体定理を利用すると，正多面体の面の形から面の数が限定されることに関心をもつ。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート
3	数学と人間の活動	約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 合同式	a:素因数分解やユークリッドの互除法を利用して最大公約数や最小公倍数を求めたり,1次不定方程式の特殊解を求め，それによりすべての整数解を求めたりすることができる。 b:パズルなどに数学的な要素を見出し，目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c:互除法を利用するなどして，$ax + by = c$ を満たす整数 x，y の組を求める方法に興味・関心をもつ。	確認テスト 定期考査	レポート 定期考査	振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度